

地域の会の発足からの経緯

活動実績

| | | | | |
|-----|-------|-----------|--|-----|
| 14. | 8.29 | 東電の不正事件発覚 | | |
| 12. | 1.19 | 第1回準備会 | (準備会設立趣旨、会の趣旨・目的・委員等説明) | 13名 |
| 15. | 1.27 | 第2回準備会 | (行政からの提案) | 14名 |
| 2. | 1.19 | 第3回準備会 | (会則について) | 14名 |
| 4. | 1.18 | 予備会議 | (趣旨の確認、今後の進め方) | 21名 |
| 5. | 1.12 | 第1回定例会 | (不正の経過及び発電所の取り組み) | 23名 |
| 6. | 1.2 | 発電所視察 | (漏えい率検査、シュラウド及び再循環系配管) | 20名 |
| 6. | 9 | 第2回定例会 | (前回以降の動き、首都圏の電力需給問題) | 22名 |
| 7. | 2 | 第3回定例会 | (4号機運転再開について) | 19名 |
| 7. | 17.31 | 第1回臨時会 | (再循環系配管の点検データ確認) | 22名 |
| 8. | 5 | 第4回定例会 | (品質保証制度について) | 17名 |
| 9. | 3 | 第5回定例会 | (維持基準導入の考え方) | 19名 |
| 10. | 2 | 第6回定例会 | (特認申請とシュラウドについて) | 20名 |
| 11. | 6 | 第7回定例会 | (異物混入問題、市長プレゼン：規制の在り方) | 21名 |
| 12. | 3 | 第8回定例会 | (委員意見交換：異物混入問題・規制の在り方、 異物混入問題について意見のとりまとめを行う) | 19名 |
| 12. | 14 | 発電所現況視察 | (物品管理状況) | 13名 |
| 16. | 1.15 | 第9回定例会 | (委員意見交換：規制の在り方) | 21名 |
| 2. | 1.13 | 第10回定例会 | (保安院との意見交換) | 18名 |
| 3. | 12.13 | 東海村視察研修 | (原子燃料工業、原研、原子力防災意見交換) | 14名 |
| 3. | 1.15 | 第11回定例会 | (委員意見交換、会長・副会長決定) | 23名 |

- ・情報誌「視点」発行：6回発行
- ・ホームページ開設(平成15年6月)、会議録・資料を随時更新
- ・運営委員会(会の運営を検討する合議組織)：6回開催
- ・広報委員会(情報誌の吟味担当)：6回開催
- ・その他：新人委員を対象に今後の会の進め方についての打合わせ開催(6月)

反省点と展望

定例会の意見のまとめ

- ・多種多様な意見が出るため、最後に本日の会のとりまとめができない。元々、会としての結論を出すことを目的としているものではないが、言いつぱなし、聞きつぱなし。新聞報道でも特定の発言のみ採り上げられ、情報誌で情報発信するにしてもまとまりがない。

会として意見をとりまとめた方が良い内容については、後日、事務局でとりまとめ、運営委員の意見をとりまとめた上で公表するようにしている。今後は、最後に会長によるとりまとめ・コメントができるように会議の運営を工夫する。

説明者との1対1のやりとりになりやすい

- ・ 質問者と説明者のやりとりで話が終わってしまい、それが委員同士の意見交換に続かない。
オブザーバーのアドバイス・解説により意見交換につながるよう努める。

専門的な質疑に陥りやすい

- ・ 委員の知識に差があり、専門的な質疑の場合、知識のない委員は加わっていけない。
オブザーバーが適切なアドバイス・解説を行う。

地域の会への地域住民への認知度が低い

- ・ 分かり易い、見やすい、読まれる情報誌となるよう工夫が必要。タイムリーな発行を。
読まれる情報誌となるよう工夫を続ける。将来的には折り込みチラシをタイムリーに発行するので良いのでは。

その他

- ・ 県や事業者は地域の会への説明をもって住民に説明したとするきらいがある（アリバイに使われている）。